

金秀グループが寄附金を贈呈

創業66周年を迎えた金秀グループ（呉屋守将会長）が、5月27日に西原町人材育成会へ100万円を寄附しました。



また、同グループの創業者の呉屋秀信さん（字我謝出身）から、母校の西原中に30万円が寄附されました。寄附にあたり呉屋会長は「沖縄の発展のためには、人材が一番の資源。有用な人材を育成し、地域の発展につながるようお願いしたい」とあいさつしました。

小学生がなぎなたの大会で活躍！



5月19日に与那原小学校で開催された第30回沖縄県小学生・中学生なぎなた大会で、西原なぎなたクラブ所属の児童が好成績を収めました。

チームメイトの活躍に、島川奈瑞菜さん（坂田小6年）は「たくさんのメンバーが入賞できて嬉しい。これからの大会もがんばりたい」と喜びました。大会の結果は以下のとおりです。

【演技競技】小学1・2年生の部3位：瀬長拓夢（西原小1年）・番場珀菜乃（西原東小2年）組／小学3・4年生の部2位：金城優（西原南小3年）・宮城心音（西原小3年）／小学5・6年生の部3位：山田望来・新川珠羽（ともに西原東小5年）

【個人試合】小学3年生の部3位：宮城心音
小学5年生の部3位：山田望来

【団体試合】3位：島川奈瑞菜・山田蒼彩（西原東小5年）・金城優

AEDの使い方を学ぼう

AED（自動体外式除細動器）の使用方法などの救急救命方法を学び、緊急時に対応できるスキルを学ぶため、AED講習会が5月14日に西原町役場で行われました。

今回の講習会は、主に公共施設で救急の患者が発生した場合に対応できる人材の育成を目指して開催されました。町役場の職員のほか、公共施設の管理に従事しているシルバー人材センターの会員などが参加しました。



まちの話題

“黒糖の日”に昔ながらの黒糖づくり

「黒糖の日」にあたる5月10日にちなんで、昔ながらの製法の黒糖づくりの実演会がJAおきなわ西原支店で行われました。「黒糖の日」は、沖縄黒糖のブランドを広く発信し、消費拡大を目指して制定されたものです。



西原町はかつて大きな製糖工場があり、基幹産業としてさとうきび栽培が行われるなど、黒糖と縁の深い地域です。この日は、西原町さとうきび生産振興対策協議会の役員、新川喜男さんを中心に、JAや町役場の職員が協力して実演会を行いました。

さとうきびを機械でしぼり、しぼり汁を煮ると、あたりに甘い香りがたちこめていました。できたての黒糖は、通りかかった住民などに無料でふるまわれました。

功績を表彰し、寡婦を激励 ～西原町母子寡婦福祉会～

西原町母子寡婦福祉会（呉屋定子会長）の総会が、6月2日に行われ、さまざまな分野で活躍してきた寡婦（夫と死別し、再婚していない女性）4名に対して、表彰状が授与されました。

表彰を受けたのは、寡婦として厳しい生活環境にありながらも家庭や地域を支えてきた方々です。

呉屋会長は「地域でがんばっている寡婦の方々を、組織として何らかの形で激励したいと考えていた」と、表彰の趣旨を説明しました。

また表彰状の文言は、中央公民館で開催されている「しまくとぅば講師養成講座」の受講生が方言に翻訳して作成されました。



東崎自治会に集会所が完成！

マリントウン地内の住宅用地に住む住民で結成されている東崎自治会（宮平友博会長）の集会所が、住宅用地内の東崎がしゅまる広場に完成し、5月19日に落成式が行われました。



同自治会は、行政区は兼久に属しますが、字東崎に住む住民同士で自主的な活動をする任意団体として、平成23年4月に結成されました。

このたび完成した集会所は、マリントウン東崎の住宅用地を整備・分譲した沖縄県町村土地開発公社西原支社が住宅用地の整備事業の一貫として建てたものです。集会所にはホールや和室などが整備されており、自治会の地域活動の拠点施設として活用されます。また、太陽光発電設備を有し、環境に配慮した構造となっています。

式典に出席した上間町長は「地域コミュニティの拠点として、住民の交流やふれあいの場として活用していただきたい」とあいさつしました。また、式典にはたくさんの住民が参加し、集会所の完成を祝いました。

平園地区で小波津川改修工事の現状報告会を開催



平成22年に着手した小波津川改修工事の進捗状況を説明する報告会が、6月4日に平園公民館で行われました。

小波津川は、台風や集中豪雨による浸水の被害や損害が生ずる恐れがある“水位周知河川”に指定されています。その解消に取り組むため、県が改修工事を進めています。

今回の説明会は、5月23日の大雨による浸水被害が起きた同地区が要望して実現したもので、地元住民などおよそ60名が参加。沖縄県土木建築部河川課の和宇慶務河川班長をはじめとした県の担当者、西原町から崎原盛秀副町長のほか担当部課長が対応しました。

浸水被害の直後でもあるため、住民は「雨が降るたびに夜中でも浸水対策をする生活。早めに対応してほしい」など、切実な意見を訴えました。

限りある資源！水を大切に ～水道週間パレード～



水道に対する理解と関心を高め、水資源の大切さと節水を呼びかけることを目的として、6月3日に節水パレードが行われました。このパレードは、西原町と町管工事協同組合（渡口彦武理事長）が合同で毎年実施しているものです。

パレードでは水道関連の事業所などが、節水を呼びかける看板やのぼりを車に取り付けて町内を巡りました。

出発式で渡口理事長は「パレードを通じて、限りある水資源の大切さを訴えたい」と抱負を述べました。また出発式の中で、町人材育成会への寄附金贈呈が行われました。

派遣費用の助成、学資金の貸与を決定

西原町人材育成会（上間明会長）は、県外の大会に出場する生徒に対し、派遣費用の助成を行いました。助成を受けたのは、首里高校女子バレー部のメンバーとして第58回全九州バレーボール総合選手権大会に出場した、町在住の金城秋音さん、小橋川愛奈さん、金城紅映さん、新里七世さん、宮平明奈さん（すべて2年）の5名と、第45回西日本年齢別選手権水泳大会に出場した佐藤駿くん（西原東中3年）です。



首里高女子バレー部（写真中央）

また、経済的理由により修学が困難な学生に対して学資金を貸与する、町人材育成会の学資金貸与生の通知書交付式が6月3日に行われました。学資金の貸与は、西原町の発展に寄与する人材の育成を目的として行われています。今年度は高校生1名、高専1名、大学生6名の8名に貸与が決定しました。同会の学資金貸与生は、今回を合わせて累計で243名のほりましました。



佐藤駿くん（写真中央）



学資金貸与生の通知書交付式